



告知事項 4 先天性異常について、過去に一度でも診断された(および疑いがある)ことがあれば告知が必要です。

No.	病気の分類	具体的な病気の例	告知にあたっての注意事項「診断名と症状および治療の詳細」欄にご入力いただきたい事項	(ご参考)病気の概要
告知事項 4	28 先天性異常	先天性網膜萎縮症、奇形、口蓋裂、原発性門脈低形成(PHPV)/微小血管異形成(MDV)、酵素欠損、股関節形成不全、動脈管開存症(PDA) 等	現在症状がない場合でも過去に一度でも診断を受けたことがある場合には告知が必要です。 ※先天性異常のうち、告知事項 1 の傷病に該当する場合は、告知事項 1 の「はい」を選択してください。	生まれつき持っている体の異常や病気を指します。
	29 膝蓋骨脱臼(パテラ)	膝蓋骨内方脱臼、膝蓋骨外方脱臼	現在症状がない場合でも次の①または②に該当する場合は告知が必要です。 ①過去に一度でも診断を受けたことがある場合 ②左記の病気の「疑いがある」と診断されたことがある場合 症状の程度(グレード1~4)などがわかりであれば、併せてご記入ください。	膝にある膝蓋骨が内側または外側に外れてしまう病気を指します。痛みや歩行異常(跛行、足の挙上)などの症状が現れます。
	30 門脈シャント	門脈体循環シャント(PPS)、奇静脈シャント	現在症状がない場合でも過去に一度でも診断を受けたことがある場合には告知が必要です。治療の有無(特に手術)について、詳細をご記入ください。	肝臓に入る血管(門脈)と全身の静脈の間に異常な血管(シャント)が形成されてしまう病気を指します。本来肝臓で解毒される有害物質が全身にまわり、消化器症状や発作などの症状が現れます。

**注意事項** 告知事項に事実と異なる入力をされた場合には、ご契約を解除させていただくことや、保険金をお支払いできないことがあります。